

7. 次にiEPGを使った、スケジューラーの設定を説明します。インターネットTVガイドのホームページに(<http://www.tvguide.or.jp>)接続します。

「iEPG 番組表」をクリック



8. iEPGの番組画面が開いたら、各番組欄にある「予約」のアイコンをクリックします。

「予約」をクリック



9. スケジューラーの番組追加画面が開きますので、左のページと同じ手順で番組予約の追加をします。



アプリケーション

## スケジューラー機能 & iEPG

スケジューラー機能は、録画やTV表示を毎週・毎日・一度だけなど、さまざまな設定で予約することができます。予約録画はもちろんタイマーの設定だけしておけば、番組を見逃してしまう事ありません。またiEPGに連動して番組のタイマー設定、録画スケジュールの管理もできます。

### スケジューラーの起動

Windowsタスクバー内「スタート」 「プログラム」 「Hauppauge WinTV」 「Scheduler」

1. スケジューラーを開けると、右のiEPGのエリアセクションの画面が出てきますので、お住まいの地域をドラッグして「OK」を選択。該当する地域がない場合は「エリアが見つからない」をチェックします。



2. 次にスケジューラーの操作画面が出てきますので、「はい」を選択、「次からこの画面を表示しない」をチェックしてリモコンの設定をします。



3. リモコンによる設定の画面が出てきたら、「OK」を選択します。



4. 次にWinTVスケジューラー画面が出てきたら、「番組の追加」をクリックします。

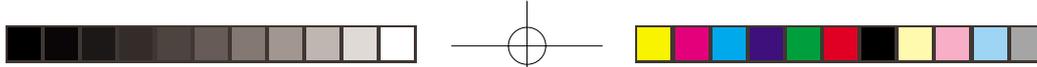


5. 番組の追加画面で、スケジュールの設定をします。ハードディスクに録画する際は、「ファイルに録画」を選択しファイル名を入力し、「予約の保存」をクリック。



6. 設定されたスケジュールを一覧表で確認します。以上でスケジューラーの設定はできました。





#### タイムシフト・コントロール・パネルを表示する場合。

「Pause」 ボタンをクリックするとタイムシフト・コントロール・パネルが表示されます。画面は一時停止表示され、停止後の映像はパソコン内部に保存されて行きます。

イニシャライズ（起動設定）の為に多少（数秒程度）録画開始時間が遅くなります。



タイムシフト・コントロール  
表示ボタン

タイムシフト・コントロールパネル



戻り再生  
一時停止  
再生  
低速再生 (x1/2)  
高速再生 (x2, x8)  
スキップボタン  
リプレイボタン

**戻り再生**  
表示されている一時停止画面から映像を戻り再生します。

**一時停止**  
映像を一時停止します。もう一度クリックするかプレイボタンをクリックすると、停止したシーンから再び再生されます。

**低速再生(X1/2)**  
表示されている一時停止画面から再生を1/2倍速で再開します。録画されたファイルを再生しているの、実際の映像は停止していた間だけ先に進んでいます。

**再生**  
表示されている一時停止画面から再生を再開します。録画されたファイルを再生しているの、実際の映像は停止していた間だけ先に進んでいます。

**高速再生(X2, X8)**  
表示されている一時停止画面から再生を2倍速、8倍速で再開します。録画されたファイルを再生しているの、実際の映像は停止していた間だけ先に進んでいます。

**リプレイ**  
10秒前のシーンに戻ります。リプレイしている間も続けて録画されています。

**スキップ**  
再生中の場面からクリックする度に10秒先にスキップして、リアルタイムのシーンに近づいて行きます。

一旦録画された映像を再生しているの、一番先までスキップしてもリアルタイムの映像とは数秒の遅れが生じます。

## タイムシフト

タイムシフトとは、画面を録画しながら表示する事でちょっと席を外している間、映像を一時停止しておいたり、一瞬の映像やもう一度見たいシーンをすぐにリプレイする等、見ている画面を自在にコントロールできる機能です。リプレイや停止していた間の映像はパソコンに保存されているので、見逃す事もありません。また、同じシーンを何度も見直したり、簡単なボタン操作で最初からリプレイすることもできる便利な機能です。

最初にタイムシフトの設定をします。

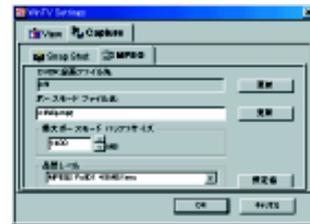
メイン画面の「PREF」 「Capture」 タブ 「MPEG」タブを開き、下記の設定をします。

### ポーズモードファイル名

タイムシフト中に画像をキャプチャーするファイル名を設定します。  
初期設定のままです。特に変更する必要はありません。

### 最大ポーズモードバッファサイズ

タイムシフト中にバッファ（キャプチャーして画像を貯めておく）するファイルサイズを設定します。（画像データの目安は FULL D1 4.0MB/sec で1分間約30MB）バッファファイルが設定ファイルサイズよりも大きくなった場合は、古いデータから上書きされていきます。



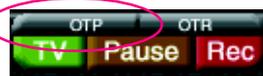
### 品質レベル

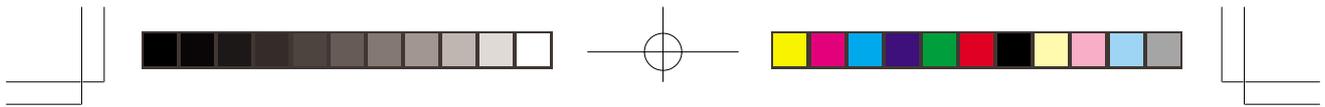
キャプチャーする画像を設定します。画質を一秒間のデータサイズ（ビットレート）で表し、数字が大きいほど画像の品質は高くなりますが、その分ファイルサイズは大きくなり同じファイルサイズでキャプチャーできる時間は短くなります。

「OTP」 ボタンですぐにタイムシフトをはじめる場合。

「OTP」 ボタンをクリックすれば、ここからすぐにタイムシフトがスタートし、一時停止やリプレイ操作ができるようになります。画面は保存ファイルの最新部分が表示されます。  
イニシャライズ（起動設定）の為に多少（数秒程度）録画開始が遅くなります。

ワンタッチ・ポーズボタン





**録画**

録画ボタンをクリックすると映像の保存が開始され、録画時間がパネルに表示されます。イニシャライズ（起動設定）の為に多少（数秒程度）録画開始が遅くなります。

**戻り再生**

クリックすると録画戻り再生されます。

**一時停止**

再生を一時停止できます。もう一度クリックするか、再生ボタンをクリックすると、再生が再開されます。

**停止**

クリックすると録画 / 再生が停止されます。

**低速再生(X1/2)**

クリックすると再生のスピードを 1/2 倍速に変更することができます。

**再生**

上記開くボタンで選択されたファイルが再生されます。ファイル再生時にはステータスバーに再生状態が表示され、マウスで再生位置（シーン）をコントロールできます。

**高速再生(X2, X8)**

クリックすると再生のスピードを 2 倍速、8 倍速に変更することができます。

**ファイルを開く**

右の画面が表示され、録画したファイルを選択して「開く」をクリックし、メイン画面で再生ボタンをクリックします。再生ボタンをクリックするまで、画面にはリアルタイムの映像が表示されたままです。



**ファイル・ステータス・バー**

録画時間の表示や、ファイル再生時の進行状況を表示します。スライド・バーをマウスで操作して再生ポイントのコントロールができます。

録画時間・再生時間が表示されます

スライド・バーで再生状態をコントロールできます



アプリケーション

**ワン・タッチ・レコードボタンを使用する方法**

ワン・タッチ・レコードボタンをクリックすると、すぐに録画が開始され録画コントロールパネルが表示されます。

イニシャライズ（起動設定）の為に多少（数秒程度）録画開始が遅くなります



ワンタッチ・録画ボタン

録画コントロールパネル



## 動画キャプチャー

テレビや外部入力に接続したソースの画面を最新のハードウェア MPEG2 を使用して、高画質・高圧縮の MPEG 動画ファイルで保存する事ができます。

1つのファイルとして保存できる最大のファイルサイズは Windows98/98 SE で 2GB、WindowsMe/2000 は 4GB です。最大ファイルサイズを超えてキャプチャーされると、ファイルを再生することができませんのでご注意ください。

まず VCD のファイルから Setup.exe をインストールし、MPEG1 ファイル対応のアップグレードをしてください。

最初に録画の設定をします。  
「PREF」ボタンをクリックし、「WinTV Setting」から「Capture」タブ内「MPEG」タブをクリックします。

録画する画像の品質をプルダウンメニューから選択します。一秒間のファイルサイズが大きい程画質は良くなりますが、保存されるファイルのサイズも大きくなります。



### 品質レベル

キャプチャーする画像を設定します。画質を一秒間のデータサイズ（ビットレート）で表し、数字が大きいかほど画質は高くなりますが、その分ファイルサイズは大きくなり同じファイルサイズでキャプチャーできる時間は短くなります。

MPEG1 VCD：ビデオ CD 用のファイルをキャプチャーします。キャプチャーしたファイルを CD-ROM に保存すればビデオ CD としてご利用になれます。

別途 CD-R/RW 等の書込みシステムが必要です。

DVD 用キャプチャーはファイルを作成する場合は「MPEG2 FullD1 \*MB/sec」を選択して下さい。

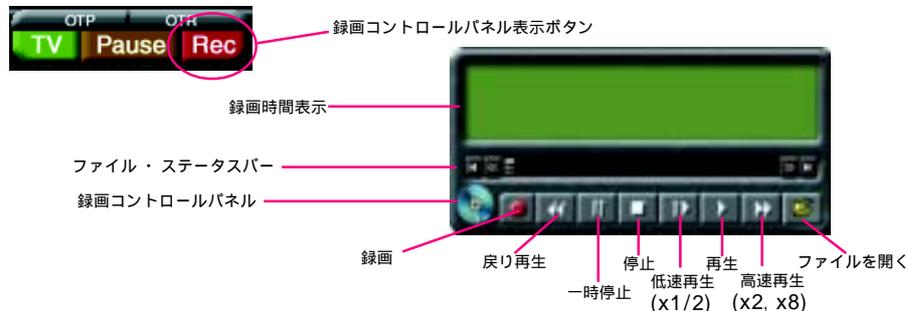
各キャプチャー設定のファイルサイズは下記の表を参考にして下さい。  
各数字は目安です。

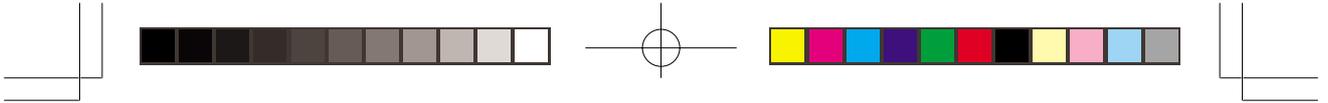
MPEG2 FullD1(PCIのみ)12MB/sec	1分間約 90MB	1時間約 5.4GB	1GB 当り約 10分
MPEG2 FullD1(PCIのみ)8MB/sec	1分間約 60MB	1時間約 3.6GB	1GB 当り約 15分
MPEG2 FullD1 6.0MB/sec	1分間約 45MB	1時間約 2.1GB	1GB 当り約 22分
MPEG2 FullD1 4.0MB/sec	1分間約 30MB	1時間約 1.2GB	1GB 当り約 33分
MPEG2 HalfD1 2MB/sec	1分間約 16MB	1時間約 1GB	1GB 当り約 60分
MPEG1 VCD 115KB/sec	1分間約 10MB	1時間約 600MB	1GB 当り約 100分

保存先、ファイル名を設定して「OK」ボタンをクリックしメイン画面に戻ります。

## 録画コントロール・パネルを使用する方法

REC ボタンをクリックし録画コントロールパネルを表示します。

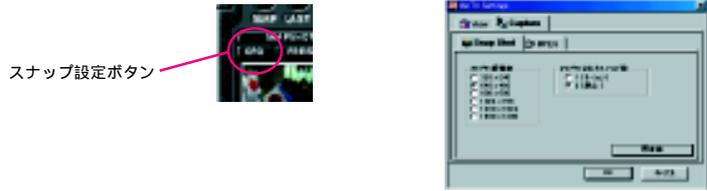




## 静止画キャプチャー

画面に表示されているテレビや外部入力からの映像を、静止画像としてパソコン内に保存する事ができます。

- 静止画キャプチャー設定ボタンをクリックして、取込み画像サイズとファイル形式及びキャプチャーするフレーム数を設定します。
- 1フィールド（モーション）テレビの1フレームを取り込みます。
- 2フィールド（静止）テレビの2フレームを合成して取り込みます。



静止画キャプチャーボタンをクリックするとスナップショットウィンドウにプレビューが表示されます。



スナップショットウィンドウの取り込んだ画像をダブルクリックします。

キャプチャーしたサイズで表示されます。メニューバー「file」メニューの「Save as」を選択すると下記の画面が表示されます。



ファイル形式、保存先を指定して「保存」をクリックすると指定したフォルダに画像ファイルが保存されます。

アプリケーション

## チャンネル設定の変更

既に設定されているチャンネルの変更や追加、チャンネルの表示名を設定することができます。

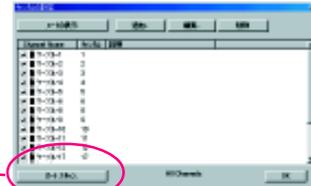
### オートスキャン

受信可能なチャンネルを、自動的にスキャンして設定します。

チャンネル設定ボタンをクリックすると右画面が表示されます。

「オートスキャン」をクリックします。

「オートスキャン」をクリック



表示されるダイアログボックスで下記の通り設定し、「開始」をクリックします。

- |             |                                       |
|-------------|---------------------------------------|
| 「チューニングモード」 | : 「Channels by Country」               |
| 「放送・ケーブル」   | : 通常のアンテナは「Antenna」<br>ケーブルTVは「cable」 |
| 「ビデオの種類」    | : 「NTSC M」                            |
| 「国」         | : 「Japan」                             |



スキャンが終了すると前の画面に戻るので、「OK」をクリックします。

### チャンネル追加・変更

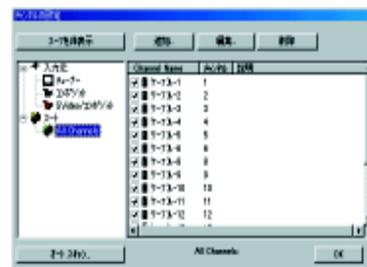
手動でチューニングの調節や追加することができます。

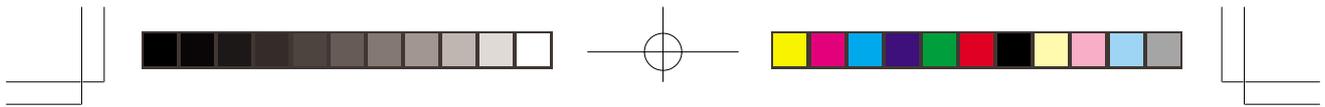
チャンネル設定ボタンをクリックすると下記画面が表示されます。



設定を変更する場合は、変更したいチャンネルを選択して「Edit...」を、追加する場合は「追加」をクリックします。

「チャンネル編集」ウィンドウが表示されます。「Channel Name」で表示名を「Preset」で表示順（先頭は0）を設定し、追加の場合は「微調整」で表示したいチャンネルを設定して「OK」をクリックします。





**カラー調整ボタン**

: Brightness 輝度、 Contrast コントラスト、 Saturation 彩度、 Hue、 色調を調節できます。



**フリーズ**

: 表示画面をフリーズ（一時停止）します。  
表示画面が一時停止しますが、タイムシフト機能ではありません。

**静止画キャプチャー設定ボタン**

: 静止画キャプチャーの画像サイズを設定します。

スナップ設定



**LAST**

: チャンネルリストの最後に設定されているチャンネルを表示します。

**チャンネル設定**

: チャンネル設定を変更します。

**TVボタン**

: リアルタイム（通常）TVモードに切り替えます。

ここをクリック



**タイムシフトボタン**

: タイムシフト・コントロールパネルが表示され画面が一時停止します。

ここをクリック

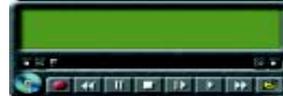


**録画ボタン**

: 録画コントロールパネルが表示されます。



ここをクリック



**OTP（ワン・タッチ・ポーズ）ボタン**

: タイムシフトがスタートし、キャプチャーが開始されます。画面上は保存されているファイルの最新部分が表示されます。



**OTR（ワン・タッチ・レコード）ボタン**

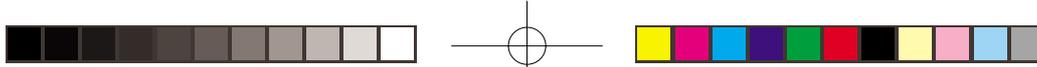
: クリックするとすぐに動画キャプチャーがスタートします。



**SUTE（スート）ボタン**

: チャンネルの設定や、既に設定されているチャンネルの追加・変更をすることができます。

アプリケーション



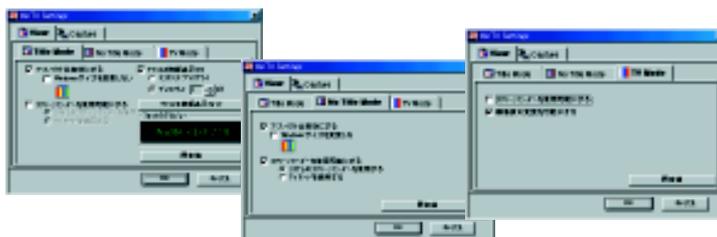
初期設定ボタン : WinTV PVR に関する各種設定をします。



### 表示タブ

#### タイトルモード / ノンタイトルモードタブ

- ・画面サイズを維持 : 表示される画面サイズの縦横比を固定します。
  - ・スクリーンのみサイズを維持 : スクリーンサイズを維持して画面を表示します。
- タイトルモード / ノンタイトルモード / TV モード
- ・スクリーンセーバーの使用を許可 : WinTV PVR の起動中でもスクリーンセーバーが動作します。
  - ・システムのスクリーンセーバーを使用 : Windows のスクリーンセーバーを使用します。
  - ・TV モードを使用 : WinTV PVR の画面をスクリーンセーバーとして使用します。
- タイトルモード
- ・コンスタント : 常にチャンネル情報を表示します。
  - ・ディスプレイ : 設定された間隔のみチャンネル情報を表示します。
  - ・表示フォント設定 : チャンネル情報で表示されるフォントの色やサイズを設定できます。
  - ・デフォルト : 初期設定内の設定を出荷時状態に復帰します。



### キャプチャータブ

#### スナップショットタブ

・キャプチャー解像度 : 静止画キャプチャーサイズを設定します。

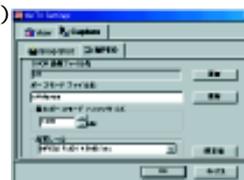
#### ・フィールドキャプチャー

1 : NTSC1 フレーム (256 走査線) の画像をキャプチャーします。

2 : NTSC2 フレーム (512 走査線) の画像を合成してキャプチャーします。

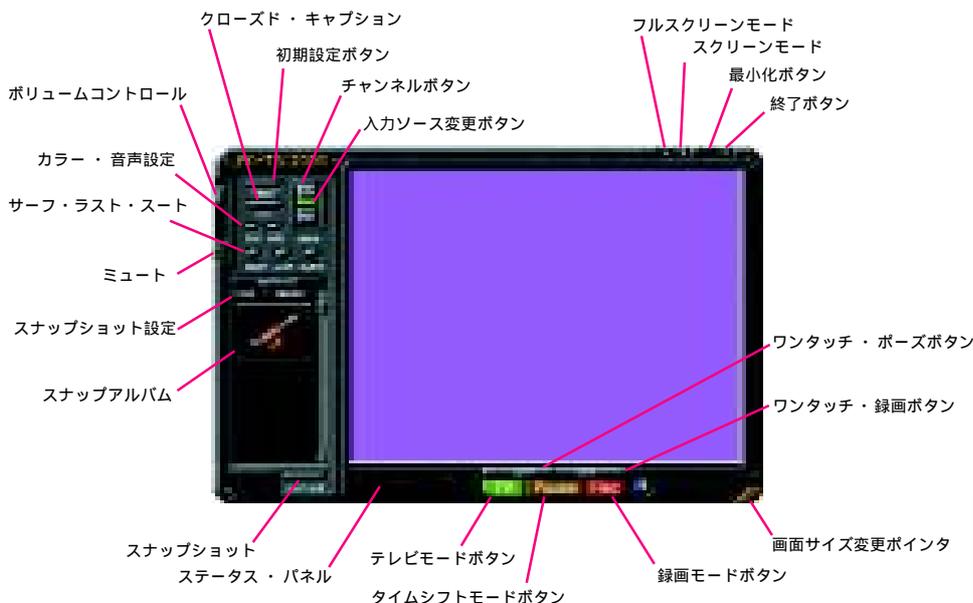
#### MPEG タブ

- ・録画ファイルパス : キャプチャーしたファイルの保存先フォルダを指定します。
- ・タイムシフトファイル名 : タイムシフト機能で使用する一時ファイルを指定します。
- ・タイムシフトバッファサイズ : タイムシフト機能で使用するバッファ (一時保管場所) のサイズを指定します。
- ・保存ファイル設定 : MPEG2 でキャプチャーする際の画質を設定します。
- ・「デフォルト」 ボタン : 設定内容を初期状態 (出荷時設定) に戻します。





アプリケーション各部の名称と機能



アプリケーション

- フルスクリーンモードボタン**  
: TVをフルスクリーンで表示します。画面をマウスで右クリックすると通常モードに戻ります。
- スクリーンモードボタン**  
: アプリケーション操作パネルの非表示モードになります。画面を右クリックすると通常モードに戻ります。
- サーフモード**  
: 表示画面を16分割し順番にチャンネルを表示していきます。もう1度クリックすると通常モードに戻ります。
- 最小化**  
: アプリケーションをWindowsタスクバーに登録します。
- 終了**  
: アプリケーションを終了します。
- ホームページ**  
: Hauppauge! (英語) のホームページへジャンプします。  
インターネットに接続できる環境が必要です。
- 画面サイズ変更ポイント**  
: マウスでドラッグして画像表示サイズを変更します。
- チャンネル・入力ソース変更ボタン**  
: 上下の矢印でチャンネル操作、センターの緑ボタンでTV・コンポジット・Sビデオの入力ソースを選択します。



## アプリケーションの起動

Windows のデスクトップにある、 WinTV2000 ショートカットアイコンをダブルクリックすると、アプリケーションが起動します。



インストール後最初にアプリケーション起動した時のみ、自動的にチャンネル設定のダイアログボックスが表示されます。後で設定する場合は「いいえ」をクリックします。すぐに設定する場合は下記の手順でチャンネルをスキャンします。



1. 指示に従って「はい」ボタンをクリックすると下の画面が表示されます。下記のように設定して「開始」ボタンをクリックします。

「チューニングモード」を「Channels by Country」に、  
「放送・ケーブル」を通常のアンテナなら「Antenna」に、  
ケーブルTVなら「ケーブル」に  
「ビデオの種類」を「NTSC M」に「国」を「Japan」  
に設定、して「Start」をクリックします。

チャンネル設定方法の詳細手順は、このマニュアルの「各部の名称と機能」

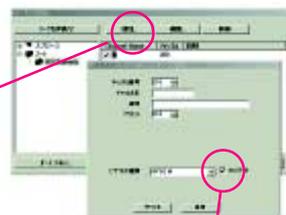


2. スキャンが終了すると下記の画面が表示されるので「OK」をクリックします。



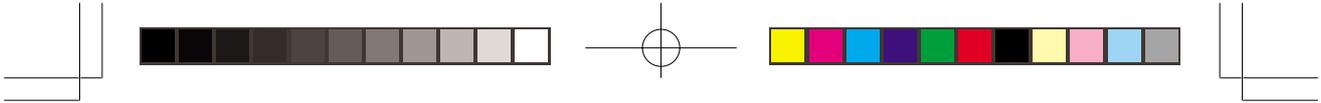
3. S映像端子をご使用になる方は、SUTE画面から追加をクリックして設定画面のラジオボタンをチェックしてください。

追加

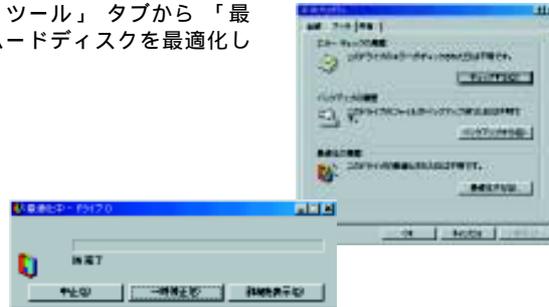


ここをチェック

チャンネル設定の詳細手順は、このマニュアルの各部の名称と機能のなかでSUTEのボタンの項目を参照してください。



3. 表示される「プロパティ」内「ツール」タブから「最適化する」ボタンをクリックしてハードディスクを最適化します。



#### 画面表示に関する設定

WinTV PVR で TV などの画面を表示する為に、画面表示色数の設定を 16Bit 又は 24Bit に設定します。

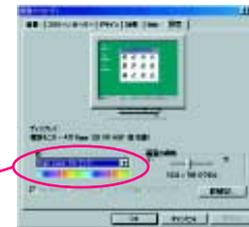
1. Windows タスクバー「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」内「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面」をクリック



2. 表示される「画面のプロパティ」内「設定」タブ内「色」の項目で「High Color (16 ビット) 又は (24 ビット)」を選択し「適用」をクリックします。

「High Color (16 ビット又は 24 ビット)」に設定します



アプリケーション

## ステップ4 アプリケーションの使用・設定

WinTV PVR を使用する為の準備  
WinTV PVR をご使用になる前に、お使いの Windows の下記設定項目を確認して下さい。

お使いのハードディスクに関する設定  
お使いのパソコンにセットされているハードディスクに「DMA : ダイレクト・メモリ・アクセス」の設定をします。DMA を設定する事でハードディスクへの書き込み・読み出しが高速になり、キャプチャー時の画像のコマ落ちを緩和する事ができます。

ここではIDE接続のハードディスクで設定する方法を記載しています。SCSI接続のハードディスクをなど、お使いの環境によって設定内容が異なる場合があります。詳しくはパソコンもしくはハードディスクに付属しているユーザーガイド等を参照して下さい。

お使いの環境がDMAをサポートしていない場合、Windowsが正常に動作しない等不具合が発生する事があります。この場合はDMAの設定を解除してご使用ください。

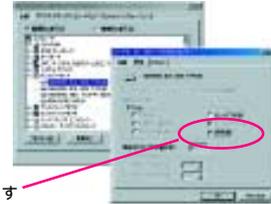
1.Windows タスクバー 「スタート」 ボタン 「設定」 「コントロールパネル」 「システム」 アイコンをダブルクリックします。



「システム」をダブルクリック

2. 表示されるプロパティの「デバイスマネージャ」タブ「ディスクドライブ」の左にある「+」マークをクリックします。

3. 接続されているハードディスク名が表示されるので、キャプチャー時に使用するドライブをダブルクリックしてプロパティを開きます。



「DMA」にチェックします

4. 「設定タブ」内「DMA」のチェックボックスにチェックして、Windows を再起動します。

アプリケーション

お使いのハードディスクに関する設定  
お使いのハードディスクにセットされているハードディスクの最適化（デフラグ）を実行して下さい。ハードディスクの連続した領域にデータを保存する事で、スムーズに録画・再生する事ができます。

1.Windows デスクトップ 「マイコンピュータ」内「C:」又は「D:」などキャプチャーファイルを保存するドライブを選択状態にします。

2. ウィンドウのメニューバー 「ファイル」メニュー内「プロパティ」を選択します。

